


調布市福祉3計画合同説明会

～調布市障害者総合計画～

調布市障害福祉課



計画案 P.4 2

「障害者総合計画」とは

- 3つの計画を一体として策定

R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">計画期間</div>						
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 「障害者計画」 (6年) 市の障害者施策全般について (障害者基本法) </div>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">第7期</div>				<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">第8期</div>
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 「障害福祉計画」 (3年) 障害福祉サービスの見込み量について (障害者総合支援法) </div>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">第3期</div>		<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">第4期</div>		
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 「障害児福祉計画」 (3年) 障害児通所支援の見込み量について (児童福祉法) </div>						

共生社会の充実

市民全体に障害に関する理解を広げ、障害の有無に関わらず地域で交流しながら共生できる社会。

- 「差別の解消」や「合理的配慮」の普及

「合理的配慮」・・・障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること（事業者においては、対応に努めること）が求められるものです。重すぎる負担があるときでも、障害のある人に、なぜ負担が重すぎるのか理由を説明し、別のやり方を提案することも含め、話し合い、理解を得るよう努めることが大切です。

市は、共生社会の充実に向けて、「パラハートちょうふ」のキャッチフレーズの下、様々な分野で取組を進めています。

例：ビックハートプロジェクト

共生社会の大切さをアートのかで発信する取組として、「パラハートちょうふ」にちなみ、カラフルなガムテープを使って手のひらサイズのハートをつくり、みなさんから集まったたくさんのハートをつなぎ合わせて大型のアート作品を完成させます。



施策の展開－事業計画－（第3章）

1 障害のある方と家族への切れ目のない支援

- ・ 本人だけでなく家族全体の地域生活を支える視点
- ・ 生涯にわたるどのライフステージにおいても、切れ目なく支えるための施策
- ・ 日常生活および社会生活のあらゆる分野で適切なサービスや支援が行き届く体制づくり

2 安心して住み続けられる地域の環境づくり

- ・ 誰もが安心して住み続けられる地域社会
- ・ 障害による差別や排除のない共生社会の充実
- ・ 福祉サービスの基盤充実とともに、物理的（ハード）、精神的（ソフト）の両面からの「社会的障壁」の除去

(施策の柱-1)

I 障害のある方と家族への切れ目のない支援

A 生涯にわたる支援

- (1) 相談支援
- (2) 健康づくり・医療的な支援
- (3) 権利の擁護
- (4) 障害福祉サービスによる生活支援
- (5) 医療的ケアが必要な方への支援
- (6) 経済的な支援
- (7) 住まいの支援

【課題】
手話及び様々な意思疎通支援手段の理解促進と支援の一層の充実

【課題】
⇒医療的ケア児について、総合的な相談できる体制が必要

<事業計画の例>

- 手話言語条例及び障害者の意思疎通に関する条例の制定に向けた検討
- 障害児(者)医療的ケア体制支援事業
・医療と福祉サービスのコーディネート
- 調布基地跡地福祉施設(仮称)整備への参画 など

「医療的ケアが必要」とは・・・人工呼吸器, たん吸引, 経管栄養など, 日常生活において医療を必要とすること

(施策の柱-1)

I 障害のある方と家族への切れ目のない支援

B ライフステージに応じた支援

- 子ども期 (1) 発達相談と療育・子育ての支援
- 成人期 (2) 教育における支援
- 成人期 (3) 放課後等の活動の支援
- 成人期 (4) 働くこと・日中活動の支援
- 成人期 (5) スポーツ・文化芸術・余暇活動の支援
- 高齢期 (6) 高齢期の支援

【課題】
・働く機会の充実
・日中活動場所の整備

【課題】
スポーツ・運動機会の充実

<事業計画の例>

- (仮称) ワークライフカレッジすどっくの運営(令和6年4月)
・より多様なニーズへの対応により, 就労支援の拡充を図る。
- デイセンターまなびや国領の運営(令和6年4月)
・民間企業で受け入れ困難な重度障害者に対応した体制
- 障害者スポーツの振興における協議体
・福祉・スポーツ・医療分野の関係者の連携によるスポーツ振興



(施策の柱-2)

Ⅱ安心して住み続けられる地域の環境づくり

C障害福祉サービスの基盤の充実

- (1) 福祉人材の育成・確保
- (2) 事業者の支援

各種障害福祉サービスに従事する有資格者などの育成と確保により、サービスの拡大と質の向上を目指すもの。

事業者への開設支援や運営支援等を通じて、サービス提供の継続と質の向上を目指すもの。

<事業計画の例>

- 福祉人材センター
 - ・福祉人材の養成，専門性の向上，市民参入に向けた普及啓発，事業所間・職員間でのネットワーク形成
- 開設費・運営費補助
 - ・各種補助金による事業者支援 など

(施策の柱-2)

Ⅱ安心して住み続けられる地域の環境づくり

D地域の環境づくり

- (1) 移動の支援
- (2) バリアフリーのまちづくり
- (3) 情報提供
- (4) 障害理解と交流
- (5) 地域のネットワークづくり
- (6) 災害時の支援
- (7) 当事者の参画

【課題】
障害者差別の解消や，さまざまな障害への理解を進め，共生社会の充実へ継続的に取り組んでいくことが必要。

【課題】
避難支援体制の整備

<事業計画の例>

- パラハートちようふの普及啓発 など
 - パラハートちようふ…共生社会の重要性をこれまで以上に発信するため、「パラハートちようふ」キャッチフレーズを掲げ，様々な分野で共生社会の充実に向けた取組を展開します。
- ちようふ災害福祉ネットワークの設立
 - ・大規模災害が発生した際に，有志の福祉事業所による障害児（者）を対象にした緊急時の支援を目的とするネットワーク。

アートデザインによるPR



障害福祉サービス等の見込み量（第4章）

- 各種サービスについて、令和6年度から令和8年度までの必要となる「見込み量」を設定
- その「見込み量」分の提供体制を確保するために、人材育成や施設整備などを推進

訪問系サービス（P.118~P.121）

ホームヘルプ，外出支援などのヘルパー利用

サービス種別	R5実績	R6見込み	R7見込み	R8見込み
居宅介護 重度訪問介護 同行援護 行動援護 重度障害者等包括支援 (延べ利用時間数) (実利用者数)	241,325時間 491人	252,100時間 502人	261,900時間 513人	271,700時間 524人

障害福祉サービス等の見込み量（第4章）

日中活動系サービス ※抜粋（P.122~P.127）

福祉作業所などの通所施設

サービス種別	R5実績	R6見込み	R7見込み	R8見込み
生活介護 (延べ利用日数) (実利用者数)	109,380日 491人	111,500日 501人	113,700日 511人	115,900日 521人
就労継続支援B型 (延べ利用日数)	100,492日 686人	102,000日 700人	103,500日 710人	105,000日 720人

居住系サービス ※抜粋（P.128~P.131）

サービス種別	R5実績	R6見込み	R7見込み	R8見込み
共同生活援助 (実利用者数)	334人 グループホーム	348人	360人	372人
短期入所 (延べ利用日数) (実利用者数)	9,180日 145人 ショートステイ	9,350日 150人	9,500日 155人	11,150日 170人

障害福祉サービス等の見込み量（第4章）

児童通所サービス ※抜粋 (P.135~P.139) 障害児の通所施設

サービス種別	R5実績	R6見込み	R7見込み	R8見込み
放課後等デイサービス (延べ利用日数) (実利用者数)	49,728日 450人	51,000日 460人	52,200日 470人	53,400日 480人

地域生活支援事業 ※抜粋 (P.140~P.173)

サービス種別	R5実績	R6見込み	R7見込み	R8見込み
手話通訳者派遣 (延べ利用者数)	606人	650人	650人	650人
移動支援事業 (延べ利用時間数) (実利用者数)	10,402時間 133人	15,500時間 175人	16,300時間 180人	17,100時間 185人

計画の推進（第5章）

● 「調布市障害者地域自立支援協議会」による進捗管理

